

仙台大学との連携

令和5年3月23日

教育・保育振興へ

認定龍澤寺こども園と仙台大 連携協定を締結

認定龍澤寺こども園（一関市山目町3丁目、塩竈素明園長）と仙台大（宮城県柴田町、高橋仁学長）は23日、教育・保育の振興と人材育成、地域の発展に寄与するため連携協定を締結した。総合的な体育大学の資源を活用しながら園児の体力測定や体力づくり、学生の教育・保育実習などで協力する。

調印式は同園で行われ、関係者9人が出席。塩竈園長と高橋学長が連携協定書2冊に署名した。高橋学長は「体を動かすことの好きな子供たちが一人でも多くなるように取り組む。より良い指導方法や改善方法の知見を集めたい」、塩竈園長は「園の教育に体育指導を取り入れられないか、いろいろ考えてきた。共に学び支えていくため、より一層の指導をお願いした

いと、それぞれあいさつした。同大は研究内容や人材、施設・設備を地域の生涯学習やスポーツに役立てるため、学校の支援や地域との連携を重ねてきた。同園は3年前に同大子ども運動教育学科一期生で幼児体育指導者などの資格を持つ高橋菜々子さんを保育教諭として採用、昨年度からは金賢植教授の指導の下で運動機能測定を行うなど、同大との連携を深めながら教育・保育の中に運動遊びを多く取り入れて園児の未発達な運動機能を助長する体育指導を行ってきた。

連携協定書を手にする（左から）仙台大の高橋学長と認定龍澤寺こども園の塩竈園長



測定・体力づくり▽生活習慣・食育▽各種データの提供とフィードバック▽教育・保育実習の場、就職先の提供▽地域や保護者との交流や情報提供▽その他1の計6項目。就学前に運動習慣を形成する意義について同大の原田健次子ども運動教育学科長は「しっかりと動き、寝て、食べるという生活リズムを整えるために大切だ」と強調した。協定の締結により、両者の従来からの取り組みが一層活発になることが期待される。

令和5年3月24日岩手日日掲載